

地球温暖化について



櫻井 潤一郎 議員

一般質問



秋山 幸子 議員

本市の小・中学校での  
児童・生徒の学校歯科  
検診と治療について

**質問**…取り組みと実績について。  
**答弁**…住宅用太陽光発電システム設置費補助金は、平成16年度から開始し、平成29年度まで1561件、住宅用省エネ設備設置費補助金は平成26年度開始で97件、クリーンエネルギー自動車購入費補助金は平成26年度開始で25件交付をした。  
**質問**…新庁舎の節電エコオフィースとしての取り組みについて。

**答弁**…自然換気システムを導入し、エレベーター周りの空間を煙突機能という形で持たせ、窓の開放により外部の空気を取り入れて、建物内にある空気を上部に逃がすという構造で空調機能、運転を削減することにより、電力量の削減が見込まれる。そのほかには、窓ガラスに熱負荷を軽減できる2枚の複層ガラスを採用している。また、冷暖房

についても、執務室、あるいは議場等の大空間は床下から空気を噴き出すような居住域空調方式を採用して、人の背の高さまでの温度を主に調整することにより、天井から噴き出す空調方式と比較すると省エネ効果があると見込まれている。そのほか空調機能、予冷のために井戸水を利用するとか、庁舎内の照明はLEDの照明を使用している。

**質問**…保険医団体連絡会が全国の小中学校などに通う子どもの口腔状態や受診状況を把握する学校歯科医療調査を行いました。全国の小学校で歯科検診を受けた子どもの中で、要歯科受診と診断された子どものうち、歯科未受診は52・1%、中学校では66・6%と報告され、高学年になるほど未受診が増える傾向です。そこで、大田原市の小・

中学校歯科検診で歯科医受診の指示を受けた人数、治療を受けた人数、未受診の人数を伺います。  
**答弁**…平成29年度の歯科検診の結果、市内全児童生徒数の約23%である1288人に治療勧告をしております。そのうち年度内に受診した人数は56%718人、受診していない人数は44%の570人でありました。

**質問**…受診しない児童生徒の要因を把握しているか伺います。  
**答弁**…受診しなかった理由について学校への調査の結果、一番多かった理由といたしまして、家庭内の意識不足でございました。今後も学校では関係機関との連携を図り、さまざまな工夫により、少しでも治療率を上げられるよう、家庭の健康への意識の向上を目指してまいります。